

学校給食費への自治体独自補助

(2022年愛知自治体キャラバンまとめ)

- ①無償化を実施している豊根村をはじめ、前年から3市増の22市町村(41%)がなんらかの補助を実施。
 ②大口町、東栄町が半額補助。安城市・岩倉市・扶桑町に加え新たに犬山市・小牧市が第3子以降無償。
 ③岡崎市は4月分無償。13市町村が1食または1月あたり一定額の補助または公費負担を実施。
 ④2022年度は食材料費高騰に対し48市町村(89%)が国の交付金を活用して時限的な無償化・補助・減免を行ったが恒久財源が保障されておらず次年度以降の継続は未定。その中で豊明市は今後も食材料費高騰分を公費負担する。

市町村名	学校給食費の市町村独自補助・減免措置	
	実施	実施内容
合計	22	
1 名古屋市		
2 豊橋市		
3 岡崎市	○	4月分を無償化。2014年4月の消費税増税分3%を公費負担
4 一宮市		
5 瀬戸市		
6 半田市		
7 春日井市		
8 豊川市		
9 津島市	○	1食あたり15円を公費負担
10 碧南市	○	1食あたり小学校3.1円、中学校11.9円(給食費以上の賄材料費分)を公費負担
11 刈谷市		
12 豊田市	○	1食あたり15円を補助
13 安城市	○	第3子以降を無償化
14 西尾市		
15 蒲郡市		
16 犬山市	○	第3子以降を無償化
17 常滑市		
18 江南市		
19 小牧市	○	第3子以降を無償化
20 稲沢市		
21 新城市		
22 東海市		
23 大府市		
24 知多市		
25 知立市		
26 尾張旭市		
27 高浜市		
28 岩倉市	○	第3子以降を無償化(義務教育期間にある児童生徒を3人以上養育している世帯)
29 豊明市	○	当面の間1食あたり40円減額、今後も食材料費の高騰分は公費で負担
30 日進市		
31 田原市		
32 愛西市	○	1食あたり10円を補助
33 清須市		
34 北名古屋市		
35 弥富市		
36 みよし市	○	消費税分の一部と、物価高騰の対応として、小学校20円、中学校20円の補助
37 あま市	○	1食あたり10円を公費負担
38 長久手市	○	市負担1食あたり20円+地産地消推進市負担1円(保護者負担額と別途)
39 東郷町	○	2019年10月から1食あたり20円値上げし、その20円分を補助 給食費の定額制を導入し、実食数計算の給食費と定額制の差額分を公費負担
40 豊山町		
41 大口町	○	半額補助
42 扶桑町	○	第3子以降を無償化(義務教育期間にある児童生徒を3人以上養育している世帯)
43 大治町	○	1月あたり200円を補助
44 蟹江町	○	1食あたり30円を補助
45 飛島村	○	1月あたり800円を補助
46 阿久比町		
47 東浦町		
48 南知多町		
49 美浜町		
50 武豊町		
51 幸田町		
52 設楽町	○	1食あたり5円を公費負担
53 東栄町	○	半額補助
54 豊根村	◎	無償化を実施